



須田っ子 第3号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・CA・DA



最初の100完歩 (2019.5.25 須田小学校運動会)



感動と感心

校長 内山 晋

令和の最初の運動会。たくさんの皆様から応援いただき、ありがとうございます。以前「令和」の意味を、次のように説明しました。
令：よりよい暮らしに向けた
和：自分や誰かのための
「たし算」をしよう
運動会を通しての子供たち
ちなりの「たし算」(頑張る)は、中ページの作文をご覧ください。

♪人間は比べたがる

以前、運動会から等賞シール等「順位」が消えた時期がありました。その頃大ヒットした曲の中に「人間は比べたがる」という歌詞があります。一番(ナンバー1)よりも、各々が個性(オンリー1)を大切にしたい、という余韻を残す歌です。

先日の運動会には、徒競走など走力に順位を付ける種目がありました。等賞シールも配りました。子供は競争することや挑戦することで、自分の成長が実感できます。確かに、子供は順位を気にします。勝負の喜怒哀楽もありま

す。でも、運動会は須田っ子が逞しく育つ大きな舞台の一つです。低学年の約百歩の50m走の中で見せる、身体全体を前のめりにして、ゴールをめざす真剣さには、毎年心を動かされます。走ることに得意な子供には順位は大きなことなことです。作文が上手い子、難しい算数の問題を解くことが好きな子、絵や歌が好きでたまらない子、読書好きな子の「ナンバー1」が「ナンバー1」として認められる舞台作りを大切にします。認め励まされることも、子供は大好きだからです。

運動会を創る

「感動」と似ている言葉に「感心」があります。運動会の子供の感想発表の中の「運動会を創る」という表現に唸りました。すごい。子供たち一人一人が「役者」となると、前向きに運動会に参加していたと改めて感じ入りました。「運動会をする」とは違う、自分たちの持ち味を出し合い、新しい須田小の運動会を来年も創り上げていってほしいと思います。全校の顔が見える須田小ならではの感想だと思いました。



須田小 イイね!

なんでも「令和初」と冠に付けるのも、どうかと思いますが、やっぱり「節目」としての元号は、子供たちにとっても意識されます。運動会に向けての練習では、まさに先輩の具体的な行動や姿を通して、須田小の伝統が後輩へと引き継がれていることが、随所で垣間見ることができました。そして、令和初の運動会は、晴天の下、多数の保護者や地域の方々から応援をいただき、子供たちの姿は眩しかったです。



5/8(水) 避難訓練(火災)

火災の発生を想定した避難訓練をしました。また、職員による消化訓練も合わせて行いました。消防署の職員の方からは、今ある設備を使った初期消火についての指導もいただきました。



5/8(火) 応援団結団式

5月25日の運動会に向け、全校が赤白に分かれ、応援団の結団式をしました。それぞれ気合いの入った応援を披露しました。



5/21(火) 22(水) 小中あいさつ運動

須田小中連携の取組の一つとして、ハイタッチあいさつ運動を行いました。須田中学校の生徒たちと、須田小学校の子供たちが、須田小学校の玄関で、元気にあいさつを交わしました。



5/22(水)「加茂軍議」特別メニュー

約150年前の戊辰戦争の際に2日間に渡って行われた「加茂軍議」。旧暦ではありますが、軍議に関わった地域の食材などを使った特別和食メニューにしました。

須田小のページはこちら



5/25(土) とっぴー、きっぴー飛来

令和の最初の運動会を応援すべく、新潟県のキャラクターが須田小に飛来しました。運動会でも、幼児レースを中心に応援をしてくれました。